

緩和ケア病棟入院患者を対象とした、在宅医療移行時の潜在的な不適切処方の実態調査に関する研究

1. 研究の対象

2021年4月1日～2024年3月31日に国立がん研究センター東病院の緩和ケア病棟に入院または転棟し、在宅医療移行目的に退院された20歳以上のがん患者さん

2. 研究目的・方法

研究目的：治療が必要な患者さんに対して、多くの薬が併用されていることをポリファーマシーといい、終末期がん患者さんにおいてもポリファーマシーは重大な問題となっています。ポリファーマシーが起こる背景として「潜在的に不適切な処方薬」があるとされており、それをPIMsといいます。

PIMsを評価する基準はいくつか報告されていますが、終末期のがん患者さんを対象とした評価基準は3つ報告されています。この3つの評価基準を用いてPIMsの評価を行った研究は海外から報告されていますが、日本からの報告はなく、実態がわからない状況です。

本研究では、緩和ケア病棟に入院または転棟した患者さんのうち、在宅医療へ移行された患者さんを対象に、3つの評価基準を用いてPIMsを評価し、その実態を明らかにすることを目的とします。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2025年3月31日

3. 研究に用いる情報の種類

情報：性別、年齢、癌腫、既往、入院時のPS、緩和ケア病棟入院期間、入院前の状況（一般病棟、外来通院、在宅医療）、緩和ケア病棟入院時と退院時における3つの評価基準（STOPP Frail、OncPal、PIP-CPC）を用いたPIMsの数・薬剤名、全使用薬剤数、各薬剤の処方元（当院処方、他院処方）等

4. 外部への情報の提供

本研究で用いた情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらかじめ研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncc.go.jp/jp/>

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院 薬剤部 五十嵐隆志

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部 五十嵐 隆志

TEL 04-7133-1111